

「大根占小学校の文化財探訪の取組」

1 学校名

錦江町大根占小学校

2 学年・人数

3年生 16人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

令和5年5月 総合的な学習の時間及び社会科で見学計画立案
令和5年6月8日(木) 郷土巡り
令和5年6月～7月 発表資料作成

(2) 発表の日時・場所

令和5年7月6日(木) 社会科での発表会

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

馬場の田の神像(ばばのたのかみぞう):年代不明(おそらく享保時代と言われている)

(2) 特徴

頭にこしき,右手にしゃもじ,左手にすりこぎを持つ高さ92cmほどの石像。廃仏毀釈により顔が傷つけられている。

5 保存会や地域との連携の具体

本石像は,本校区内木原地区の水田脇に建立されている。古くから地域に残る歴史的遺物として,3年社会科における郷土巡り学習時の見学場所の一つとして取り上げている。

馬場地区水田脇歩道にあり,近隣所有者で協力して管理しているそうである。特に保存会などの団体はない。

6 活用の取組の工夫した点

錦江町文化財審議委員の協力をいただき,校区内を含む町内を巡り,身近な地域の様子を学ぶ見学活動を行った。

田の神像については,県内各地に設置されていること,豊作を神に祈る農民たちの思いが込められていることや,当時の農家の生活の様子などについても説明していただいた。この馬場の田の神像は,横に石碑も設置されており,その石碑に書かれていることも読んでいただいている。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



馬場の田の神像



説明石碑



見学の様子



馬場の水田地帯

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

田の神像の由来や役割等が知れてよかった。町内には、馬場の田の神像以外にもたくさんの田の神像があると分かったので、どんな違いがあるのかを調べてみたい。

【町文化財審議委員】

小学生が地元の歴史に興味をもち、学習に取り組んでいることは、文化財を保護する立場からも、郷土の先輩としても大変うれしい姿である。これを機に、更に興味をもって、学習に取り組んでもらいたい。

【教職員】

校区を自分の足で歩く体験はあまりなく、この田の神像をじっくり見学したのは初めてだった。他にも史跡はあると聞いているので、職員研修などで校区内の史跡巡りをして、児童にも伝えていきたい。